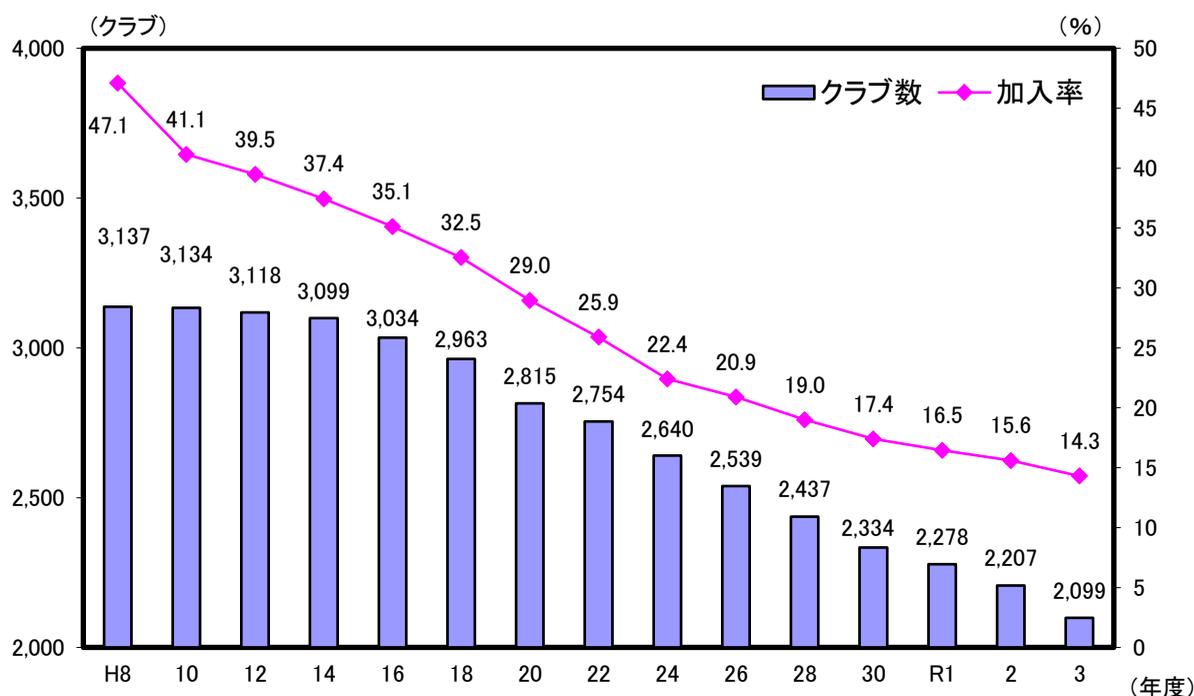


熊本県の老人クラブ加入状況の推移



解 説

【概要】

老人クラブの状況を見ると、令和3年度は2,099クラブで、会員数は94,857人、加入率は14.3%（前年度15.6%）となった。

60歳以上の高齢者数は増加傾向にもかかわらず、近年クラブ数、会員数とも年々減少傾向にある。

なお、加入率については、平成8年度の3割までに低下したが、全国平均（10.1%）と比べて4.2ポイント高くなった。

○老人クラブ

昭和38年に制定された老人福祉法や平成6年の新ゴールドプラン等に高齢者の社会参加・生きがい対策の推進組織として位置付けられている。会員は、概ね60歳以上を対象としている。

○老人クラブ加入率

老人クラブ会員数 ÷ 60歳以上人口 × 100

○65歳以上75歳未満の余暇時間

「社会生活基本調査」に基づく第3次活動の総平均時間。第3次活動とは一般に余暇活動と呼ばれるもので、行動の種類としては、移動（通勤・通学を除く）、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌、休養・くつろぎ、学習・自己啓発・訓練（学業以外）、趣味・娯楽、スポーツ、ボランティア活動・社会参加活動、交際・付き合い、受診・療養など。

資料出所	調査期日	調査周期
*1、*2、*3「福祉行政報告例」 厚生労働省 *4「社会生活基本調査」 総務省統計局	令和3年度末 令和3年10月20日	毎年 5年